

## 2015年度 第12回関私教協幹事校会議事録

1. 日時 2016年3月15日(火) 15:00~17:15

2. 場所 成蹊大学吉祥寺キャンパス 6号館6階 会議室

3. 出席者

【幹事】鈴木 将史(事務局長・創価大学)、福山多江子(事務局次長・東京成徳短期大学)、所澤 潤(東京未来大学)、喜岡 淳治(成蹊大学)、栗栖 淳(国士舘大学)、鈴木 淳子(女子美術大学)、高井良健一(東京経済大学)、武藤 伸司(東京女子体育大学)、堀田 洋(早稲田大学)、大島 真夫(東京理科大学)、戸塚 唯氏(千葉科学大学)、山崎 鎮親(相模女子大学)、栗田 るみ子(城西大学)

【オブザーバー】野島 正剛(こども教育宝仙大学)、白井 勝美、手島 陽介(杉野服飾大学)、徳田 光治(成城大学)、左巻 健男(法政大学)、冨樫 伸、篠山 浩文、村岡 慈歩(明星大学)、田中 孝一(川村学園女子大学)、五十嵐 寧(日本工業大学)、小川 房子(川口短期大学)

【事務担当】平野 光彦(創価大学)

4. 協議

[報告事項]

(1) 研究部の活動について

各研究部会の世話人より、活動状況について報告がなされた。

第1部会:3月22日(火)に城西大学紀尾井町キャンパスで、埼玉工業大学の教育実習の事例について学ぶ部会(第4回)を行う予定である。

第2部会:2月29日(月)に中野にある帝京平成大学教職センターの見学会を17名で行った。また、一昨年実施した教職センターに関するアンケートの報告書がまもなく完成予定である。

第4部会:3月7日(月)に青山短期大学で、「教職実践演習5年目の取り組み」をテーマに部会を開催した。次回は6月に開催予定である。

第5部会:3月11日(金)に東京家政大学において、Webにてまもなく実施を予定している「大学における教員採用試験に向けた取り組み調査」アンケートの内容について話し合いを行った。

第6部会:介護等体験におけるハラスメントのアンケート結果に関する報告書が完成し、各大学に発送した。

第7部会:3月16日(水)に工学院大学にて、千葉工業大学の教職担当者の方に同大学の教職課程についてお話をさせていただく予定である。

(2) 全私教協第5回理事会報告

福山事務局次長より、3月6日に開催された全私教協第5回理事会の内容に関して、主に5月28日に開催予定の全私教協定期総会における、議事(4)全国私立大学教職課程研究連絡協議会解散の件、および議事(5)一般社団法人全国私立大学教職課程協会設立の件について、資料に基づき報告があった。

また、鈴木事務局長より、法人化後の全私教協役員体制案について報告があった。

(3) 「会報」第 78 号・79 号の編集・発行について

栗栖広報部長より、「会報」第 78 号の編集状況について報告があり、原稿確認のお願いがあった。また、5 月に発行予定の第 79 号の編集案について別紙資料に基づき報告と、以下の依頼があった。

- ・研究部各部会ならびに地域部会の活動報告原稿作成を依頼したい。
- ・第 2 回研究懇話会のテープ起こし原稿につき、今月中に確認をお願いしたい。

なお、研究懇話会のページに関して、当時の背景や、その後発表された文科省の答申の URL などを紹介文として掲載してはどうかとの提案があり、研究部長が研究懇話会についての説明を書き、その中でこの意見を反映することとなった。

[審議事項]

(1) 2016 年度総会への準備について

鈴木事務局長を中心に、5 月 14 日（土）に開催予定の 2016 年度定期総会につき資料に基づき検討され、以下の内容が承認された。

- ・「開会のことば」は、司会の所澤事務局次長から行う。
- ・議長団は、第 7 部会の尾高先生（工学院大学）と第 6 部会の内海崎先生（川村女子学園大学）、もしくは第 2 部会の三尾先生（帝京科学大学）にお願いする。
- ・現段階で 2015 年度退会大学ならびに 2016 年度新規加入大学の予定はない。
- ・会則の改正については、5 月 28 日の全私教協定期総会を経て、7 月の研究部大会の際に、臨時総会を開催し、会則改正を諮る。
- ・2016 年度は、会費の徴収を 7 月の研究部総会後に行う。
- ・全私教協の会費が 2016 年度より 5,000 円値上げする予定だが、関私教協としては、2016 年度は徴収額を据え置き、2017 年度より 5,000 円値上げする方向で進める。

(2) 2016 年度研究大会について

喜岡研究部長を中心に、5 月 14 日（土）に開催予定の 2016 年度合同研究大会について、資料に基づき、発表者が決定したことならびに、アクティブ・ラーニングに関する論点整理について報告された。また、以下の意見が出された。

- ・アクティブ・ラーニングという仕組みを教員養成課程にいる学生にどのように伝えるかという視点を盛り込んで欲しい。
- ・関私教協の取り組みにつき広く理解を進めるためにも、研究大会につき、ポスターかチラシを作成し、各大学に送付してはどうか。この提案を受け、鈴木淳子幹事を通して女子美術大学にポスター・チラシの作成を依頼することとなった。
- ・発表者の依頼につき、もう少し早く行うべきであるとの指摘を受けたことが報告された。

(3) 2016 年度全私教協研究大会分科会について

大島幹事より 2016 年度全私教協研究大会の関東地区担当の分科会について、研究部第 7 部会（理数系教員養成部会）が担当する件について、資料に基づき報告があった。

(4) 2016年度全私教協研究委員会委員の選出について

鈴木事務局長より 2016年度全私教協研究委員会委員の選出について資料に基づき説明があり、教職課程運営部会委員の事務職員枠の人選につき検討された。引き続き、幹事校から人選できるよう、各大学で検討を進めることとなった。

(5) 2016年度幹事校・世話人の体制について

鈴木事務局長より、2016年度幹事校・世話人の体制について資料に基づき担当大学ならびに担当者が検討された。なお、組織部は廃止となり、調整の上、以下のように一部変更することとなった（敬称略）。

【各部】

研究部：所澤部長（東京未来大学）、鈴木（女子美術大学）、田中（川村学園女子大学）、白井、手島（杉野服飾大学）、野島、大沼（子ども教育宝泉大学）

広報部：坂田部長（日本女子大学）、小山（日本工業大学）、徳田、岩田（成城大学）

【研究部各部会】

第1部会：所澤（東京未来大学）、小山（日本工業大学）

第2部会：山崎（相模女子大学）

第3部会：坂田（日本女子大学）

第4部会：長沼（川口短期大学）、大沼（子ども教育宝泉大学）

第5部会：鈴木（女子美術大学）、白井、手島（杉野服飾大学）

第6部会：富樫（明星大学）、田中（川村学園女子大学）

第7部会：左巻（法政大学）

第8部会：徳田、岩田（成城大学）

(5) 次期会長校について

鈴木事務局長より、次期会長校の依頼状況について資料に基づき報告があった。引き続き候補の大学に依頼を続けていくが、万が一、会長校が決まらない場合が検討され、鈴木事務局長より、2016年度については、全私教協法人化の移行期でもあり、1年に限り創価大学が会長校を継続し、2017年度以降、輪番表を作成し会長校を決定していく体制を整えるという提案がなされた。また、総会の場で提起の上、輪番制が否決された場合はその場で抽選することも合わせて提案された。

(6) その他

第5部会がこの4月に実施を予定している「大学における教員採用試験に向けた取り組み調査」アンケートの内容について検討され、以下の意見が出された。

・中学校・高等学校の教科についても聞いてはどうか

・「就職者数」の定義に、正規・非正規どちらも含む旨を記載してはどうか。

これらの意見を踏まえ、引き続き第5部会内で検討されていくことが確認された。

・次回 2015年度第13回全私教協幹事校会開催予定

2016年4月14日（木）18：30～ 国士舘大学世田谷キャンパスにて